

社会福祉法人能代ふくし会  
 指定障害福祉サービス事業所 ねむの木苑  
 放課後等デイサービス支援プログラム

作成日：令和6年10月24日

事業所理念	<p>利用児童の意志及び人格を尊重し常にその立場に立った放課後等デイサービスの提供に努め、利用児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應できるよう支援をします。また、地域及び家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業所、保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との連携に努めます。</p>
サービス提供時間	<p>授業終了の場合 午後1時00分から午後6時00分          休業日の場合 午前9時30分から午後6時00分          (但し土曜日〔原則第3土曜日〕は午前10時から午後5時)          ※上記の他、当該事業所の行事又は緊急対応等によってはこの限りではない。</p>
営業時間	<p>午前9時20分から午後6時20分          土曜日は午前8時20分から午後5時20分。</p>
送迎の実施の有無	<p>☑ ・ 無          ※車輛運行計画に基づき、各学校に迎えのみ実施。</p>
職員の質の向上	<p>事業所内研修の実施や、外部研修への派遣等</p>
主な行事等	<p>           ≪春≫            ・前期お楽しみ会            ・親子レクリエーション            ≪夏≫            ・夏祭り            ≪秋≫            ・ハロウィン            ≪冬≫            ・クリスマス会            ・年度末お楽しみ会            ≪その他≫            ※音楽活動、エアロビクス 3回/年            ※避難訓練            ※所外活動(散歩、買い物体験、おでかけ等)においては随時実施         </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>

社会福祉法人 能代ふくし会  
 指定障害福祉サービス事業所 ねむの木苑  
 〈放課後等デイサービス支援プログラム〉

～療育理念～

- 子供が安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、社会で生き抜く力を得るための糧となるさまざまな遊びや体験活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高め、子どもが本来持っている主体性や想像力を発揮できるようにする。
- 障害の特性や発達の段階に応じて、子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させていく事。

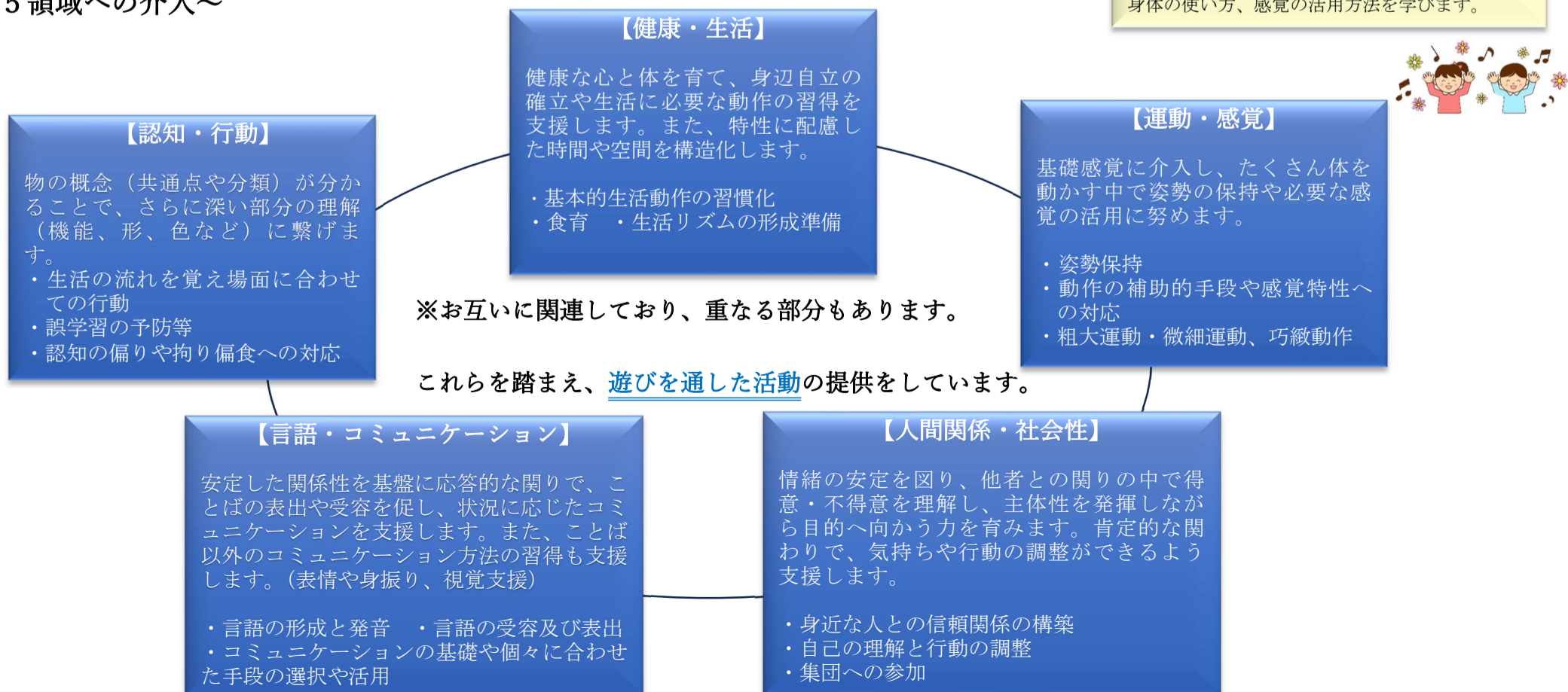
～提供形態～

本人支援	家族支援	地域・移行支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ライフステージに合わせた支援 児童期・思春期の発達の特徴を理解して関わります。 肯定的な印象で次の段階へ繋げられるよう支援します。</li> <li>○未経験と誤学習 未経験要素がないよう体験的な遊びや活動を通して、成功や失敗を体験できるようにし、間違っただけの行動を正しい行動と誤って学習することを防ぎます。</li> <li>○二次障害の理解に対応する 「予防」という支援で関わります。 生じている場合は発生要因を把握し、代替え手段の獲得や学習の促進を図り軽減に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な出来事や情報で揺れ動く家族をライフステージを通じてサポートし、安心して過ごせる多くの居場所を持つよう対応します。</li> <li>○事業所での様子を伝え、家庭で取り組んでもらいたい取り組み等があれば、その都度家族と情報の共有を行います。</li> <li>○保護者学習会や親子レクレーションなど、保護者同士がつながりをもてる機会を設定します。必要に応じてきょうだいへの支援も併せて対応します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と連携し、事業所との間で情報の共有を行います。</li> <li>○日常的な連携に加え、個別の教育支援計画と連携するなど共通理解の下で支援します。</li> <li>○複数の事業所を併せて利用されている方に対して支援内容の相互理解に努めます。</li> <li>○公共施設の利用を通して社会体験の機会を設けます。</li> <li>○事業所全体で取り組む催しなど、子ども達が参画できるようにしています。</li> </ul>

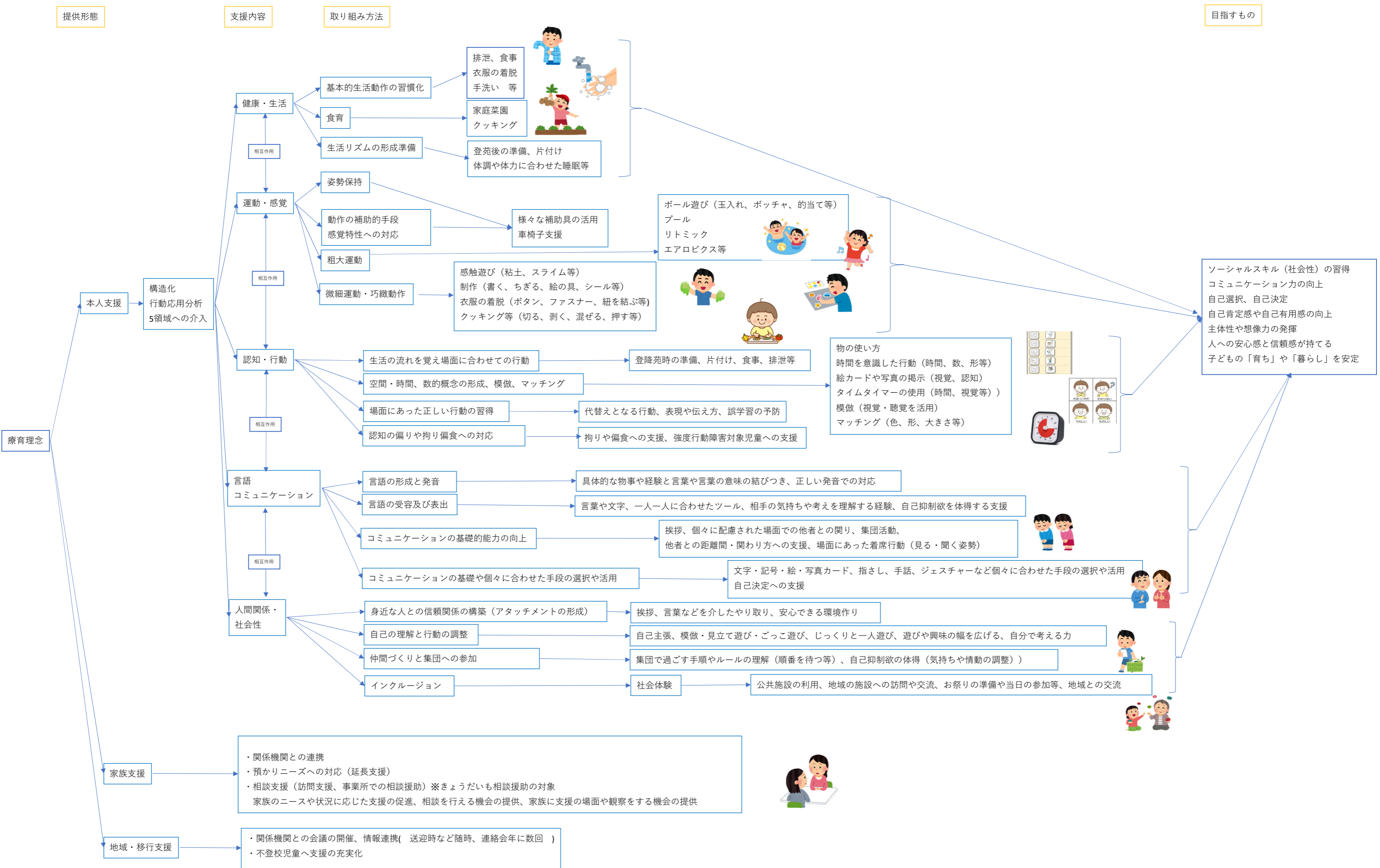
～支援内容～

<p><b>構造化・視覚支援</b></p> <p>次は 何をするか いつ どこで 環境や活動、スケジュールを視覚的に示すことで見通しを持ち、安心して行動できるようにしています。 いつになったら終わるか どのように なにを</p>	<p><b>ABA (応用行動分析)</b></p> <p>子どもの行動には目的・意味があります。</p> <p>行動のきっかけ → 行動 → 行動の結果</p> <p>3つの行動に分け、行動そのものだけでなく行動の前後の様子を含めて考えます 環境を調整することで行動も変わり、不適切な行動を減らし適切な行動が増えるよう支援しています。</p> <p>ほめられて嬉しい</p>	<p><b>様々な活動体験</b></p> <p>日常生活における生活動作の習得、生活能力の向上へとつながるよう、子ども達一人一人に合わせて支援を行っていきます。 また、余暇時間を広げていくことを目的に、多彩な活動プログラムを設定し、様々な体験を通して成長や次へステップアップと繋がるように対応を行っていきます。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身辺自立 (片付け、着替え等)、</li> <li>・食育 (家庭菜園・クッキング等)</li> <li>・粗大運動 (ボール遊び、プール等)</li> <li>・微細運動、巧緻動作 (制作、感触遊び等)</li> </ul>	<p><b>集団活動</b></p> <p>集団活動を通して、身近な他者への興味・関心へと繋げ、徐々に相手を知り・自分を知ってもらいながら人間関係を広げていきます。 また、かかわりの中で自己主張し合うことで、自己抑制力を少しずつ得し、場面にあった行動、コミュニケーション方法、社会性を学びます。</p>	<p><b>社会体験</b></p> <p>公共施設を利用し、体験を通してルールやマナー、自分で選択する力やお金の使い方などを学びます。 また、食育として家庭菜園やクッキングを通して、食への興味や健康的な生活、子どもが主体的に考え参加できる機会を設けています。</p>	<p><b>リトミック・エアロビクス (外部講師)</b></p> <p>さまざまな楽器や音楽に触れることで、感情を表現することやコントロールすることで創造性、注意力、集中力等を育み、沢山身体を動かす事で、身体の使い方、感覚の活用方法を学びます。</p>
---	--	---	---	--	---

～5領域への介入～



ねむの木苑 放課後等デイサービス 支援プログラム



目指すもの

ソーシャルスキル（社会性）の習得  
 コミュニケーション力の向上  
 自己選択、自己決定  
 自己肯定感や自己有用感の向上  
 主体性や想像力の発揮  
 人への安心感と信頼感が持てる  
 子どもの「育ち」や「暮らし」を安定